

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025年 第8週（2月17日～2月23日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1人 類型 患者 血清型 O26
四類感染症 E型肝炎	1人 推定感染地域 不明
レジオネラ症	1人 病型 肺炎型
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 3人
急性脳炎	1人 病原体 単純ヘルペスウイルス
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人 血清群 B群
後天性免疫不全症候群	1人 病型 無症状病原体保有者
侵襲性肺炎球菌感染症	1人
梅毒	13人 病型 早期顕症Ⅰ期 6人、 早期顕症Ⅱ期 4人、 無症状病原体保有者 3人
百日咳	18人 年齢階級 5歳 1人、6歳 1人、 7歳 1人、8歳 1人、 9歳 1人、10歳代 2人、 20歳代 3人、30歳代 1人、 40歳代 2人、50歳代 2人、 60歳代 1人、70歳代 1人、 80歳代 1人

<定点把握対象疾患の患者情報>

新型コロナウイルス感染症（6.59→6.71:図1）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。保健所別では、幸手（11.93）、坂戸（11.40）保健所管内からの報告が特に多い。基幹定点における入院患者の報告は35人（前週48人）であり、年齢階級別では、70歳以上が約74%であった。**感染性胃腸炎**（8.95→11.50:図2-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、第4週以降増加傾向にある。保健所別では、川口市（13.00→24.54）保健所管内からの報告が非常に多い。**伝染性紅斑**（1.40→1.20:図3）の定点当たり報告数は、第4週以降、減少傾向が続いているものの、依然として多い状況にある。保健所別では、南部（2.80→4.20）保健所管内からの報告が大きく増加し、春日部（2.67）保健所管内からの報告も多い。**RSウイルス感染症**（1.04→1.09:図4）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、過去4年の同時期と比較して高い水準にある。保健所別では、南部（3.40）、幸手（2.78）、春日部（2.17）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳以下が全体の約66%であった。**インフルエンザ**（2.95→3.10:図5）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎**6人、**流行性角結膜炎**24人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**無菌性髄膜炎**1人、**マイコプラズマ肺炎**3人、**感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）**3人、**インフルエンザ（入院）**4人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.nhs.go.jp/nid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

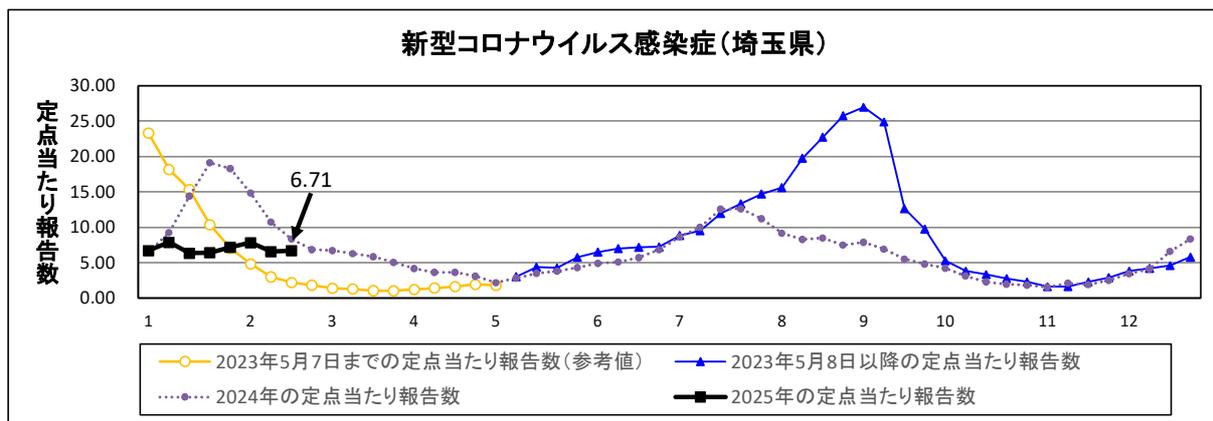
埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当

TEL:0493-59-9325 FAX:0493-59-9613 e-mail:p5349952@pref.saitama.lg.jp

URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/>

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第8週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移

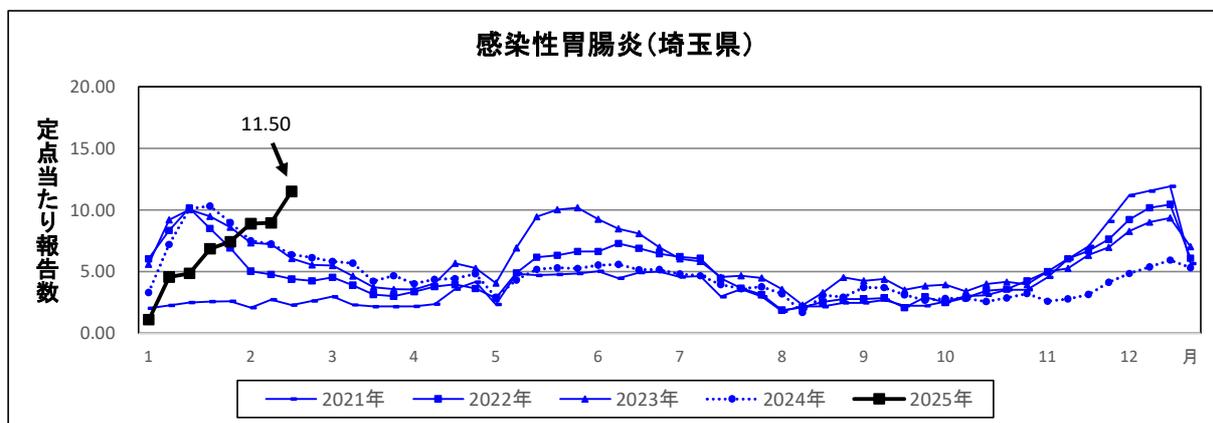


図2-2 感染性胃腸炎の保健所別流行状況の推移（2025年第6週～第8週）

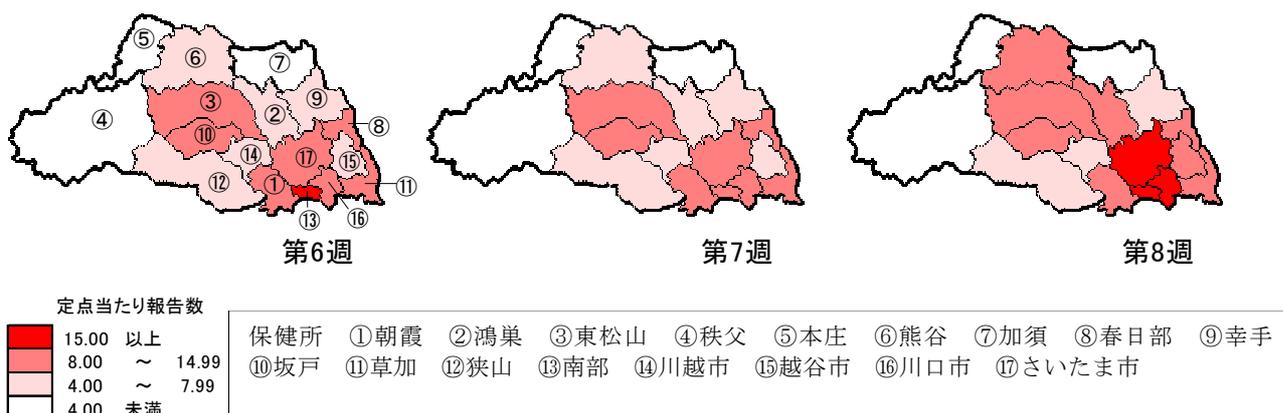


図3 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

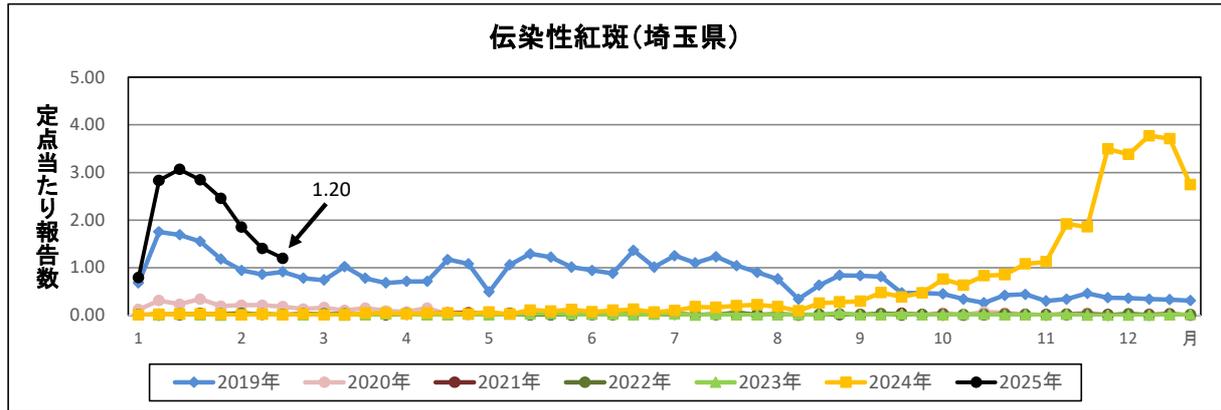
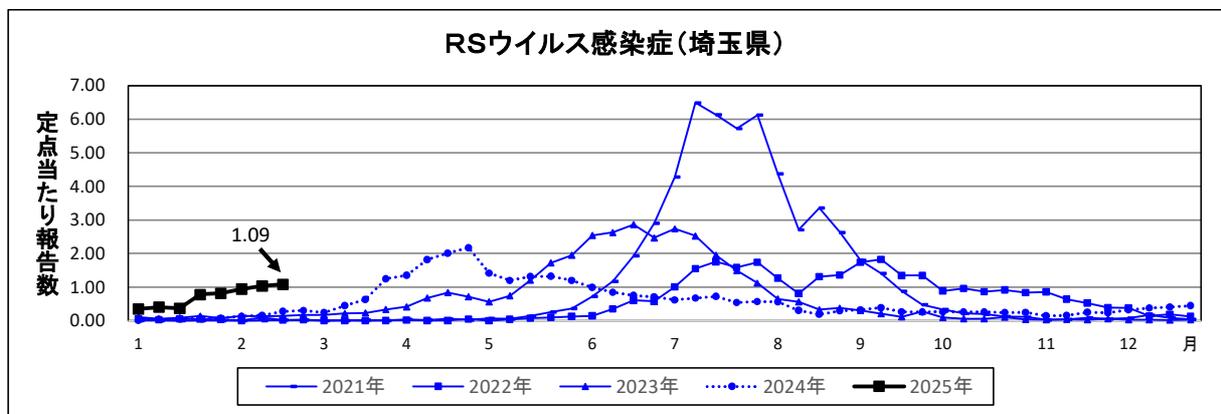
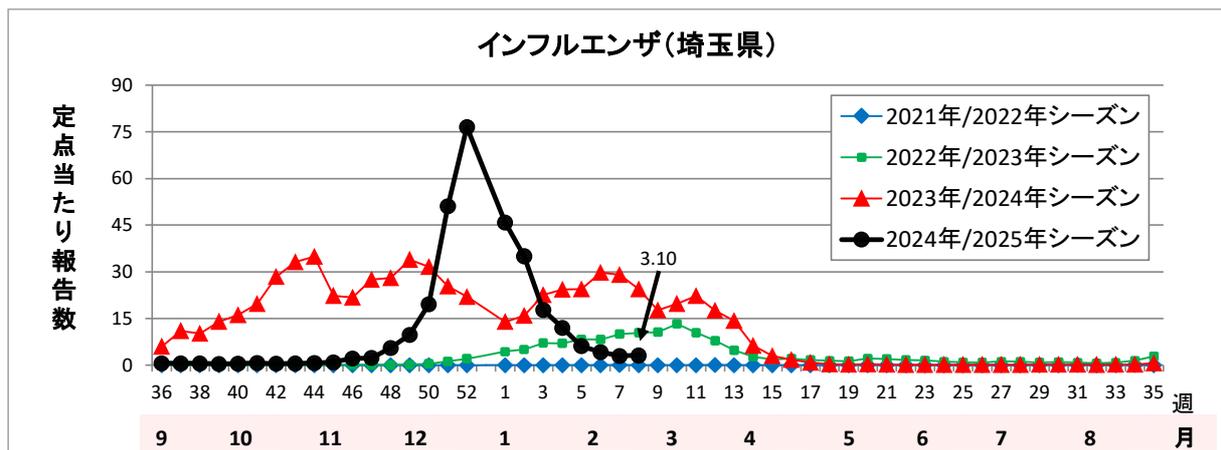


図4 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報(第8週)ー小児科定点・内科定点からの報告ー>

図5 インフルエンザの定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第8週)

(2025年2月25日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2024年 累計		今週 届出	累 計	2024年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			2	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	1	6	183				
四類感染症							
E型肝炎	1	1	39	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	4	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムボックス				日本脳炎			1
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病				Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			1
チクングニア熱				レジオネラ症	1	13	141
つつが虫病		1	3	レプトスピラ症			1
デング熱			11	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		1	26	侵襲性肺炎球菌感染症	1	35	97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	17	水痘(入院例に限る)		3	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	22	103	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	13	59	477
急性脳炎	1	9	28	播種性クリプトコックス症		1	8
クリプトスポリジウム症		1		破傷風		2	2
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	12	108	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	
後天性免疫不全症候群	1	9	33	百日咳	18	86	172
ジアルジア症				風しん			1
侵襲性インフルエンザ [※] 菌感染症		5	30	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第8週

2月17日~2月23日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)	
		#1	感染症	感染症																			
全 県	報告数 810	1,752	178	47	477	1,886	78	4	196	36	2	13	6	24	-	1	3	-	3	-	3	4	35
	3.10	6.71	1.09	0.29	2.91	11.50	0.48	0.02	1.20	0.22	0.01	0.08	0.14	0.57	-	0.08	0.25	-	0.25	-	0.33	2.92	
朝 霞	報告数 48	212	13	-	88	201	13	-	15	4	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	2.09	9.22	0.87	-	5.87	13.40	0.87	-	1.00	0.27	-	-	-	0.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 59	139	15	8	33	116	2	-	17	2	-	1	-	7	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	3.11	7.32	1.25	0.67	2.75	9.67	0.17	-	1.42	0.17	-	0.08	-	2.33	*	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 11	38	1	1	8	65	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	1.38	4.75	0.20	0.20	1.60	13.00	-	-	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数 13	29	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
	2.60	5.80	1.00	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 25	24	1	-	2	1	1	1	5	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	3.57	3.43	0.25	-	0.50	0.25	0.25	0.25	1.25	0.25	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	2.00
熊 谷	報告数 23	100	13	1	11	87	2	-	11	2	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	1.77	7.69	1.63	0.13	1.38	10.88	0.25	-	1.38	0.25	-	-	0.50	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
加 須	報告数 32	40	-	2	-	2	2	-	2	1	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	3.20	4.00	-	0.33	-	0.33	0.33	-	0.33	0.17	-	0.17	-	2.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	1.00
春 日 部	報告数 56	76	13	12	33	80	3	-	16	1	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	5.60	7.60	2.17	2.00	5.50	13.33	0.50	-	2.67	0.17	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 74	167	25	-	21	50	1	-	10	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	5.29	11.93	2.78	-	2.33	5.56	0.11	-	1.11	-	-	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 13	114	6	1	2	73	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	1.30	11.40	1.00	0.17	0.33	12.17	0.50	-	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00
草 加	報告数 48	120	6	4	26	144	1	3	15	2	-	4	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	2.53	6.32	0.50	0.33	2.17	12.00	0.08	0.25	1.25	0.17	-	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 95	190	15	3	53	92	13	-	17	4	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	3.80	7.60	0.94	0.19	3.31	5.75	0.81	-	1.06	0.25	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	2.00
南 部	報告数 28	44	17	1	46	79	7	-	21	3	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2
	3.50	5.50	3.40	0.20	9.20	15.80	1.40	-	4.20	0.60	-	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	2.00
川 越 市	報告数 45	108	6	3	36	62	2	-	9	3	1	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	3.21	7.71	0.75	0.38	4.50	7.75	0.25	-	1.13	0.38	0.13	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 62	92	2	2	11	71	2	-	10	3	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	4
	4.77	7.08	0.25	0.25	1.38	8.88	0.25	-	1.25	0.38	-	0.13	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00	4.00
川 口 市	報告数 43	107	12	1	41	319	4	-	17	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	1	4	
	2.15	5.35	0.92	0.08	3.15	24.54	0.31	-	1.31	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	3.00	1.00	4.00	
さいたま市	報告数 135	152	30	8	65	443	21	-	29	8	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	3.14	3.53	1.07	0.29	2.32	15.82	0.75	-	1.04	0.29	-	0.07	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	8.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

2月

25日

14:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				
	年齢別 (2025年第8週 2月17日~2月23日)																				
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	810	3	4	30	26	38	35	48	41	49	44	45	185	76	31	39	53	25	20	13	5
新型コロナウイルス感染症	1,752	17	19	54	37	34	26	32	42	41	37	39	236	111	154	150	192	182	121	133	95
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	178	27	39	51	26	16	8	7	-	1	-	-	2	1	-						
咽頭結膜熱	47	-	1	8	11	6	10	5	-	4	-	-	-	-	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	477	1	-	4	19	31	49	58	57	47	51	41	92	10	17						
感染性胃腸炎	1,886	15	79	199	178	149	166	156	156	150	119	96	249	38	136						
水痘	78	-	-	4	3	6	3	1	6	7	3	10	34	1	-						
手足口病	4	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-						
伝染性紅斑	196	-	3	14	10	23	26	37	32	15	10	11	14	-	1						
突発性発しん	36	1	4	21	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	-	2	2	1	2	-	2	-	4	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	6	-	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
流行性角結膜炎	24	-	-	1	-	2	3	1	-	1	-	-	1	1	2	3	3	3	3	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	3	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	4	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
新型コロナウイルス感染症(入院)	35	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	3	26				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第6週 (2月3日～2月9日)

令和7年2月26日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第3週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.46)、新潟県(10.79)、岩手県(8.94)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は376例と前週と比較して減少した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(9例)、1～9歳(69例)、10代(15例)、20代(2例)、30代(5例)、40代(10例)、50代(11例)、60代(29例)、70代(71例)、80歳以上(155例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛知県(8.15)、鳥取県(8.10)、茨城県(7.93)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,910例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(46例)、1～9歳(43例)、10代(22例)、20代(16例)、30代(29例)、40代(38例)、50代(81例)、60代(185例)、70代(486例)、80歳以上(964例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(2.70)、奈良県(2.09)、大阪府(1.76)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.22)、京都府(0.84)、富山県(0.69)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(5.36)、富山県(4.76)、岩手県(4.56)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(18.25)、熊本県(13.02)、香川県(11.39)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.54)、青森県(0.35)、佐賀県(0.35)、宮城県(0.29)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福島県(2.02)、青森県(2.00)、埼玉県(1.86)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は長野県(0.06)、大分県(0.06)、宮崎県(0.06)、山形県(0.04)、香川県(0.04)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は神奈川県(0.07)、香川県(0.07)、福島県(0.06)、群馬県(0.06)、岡山県(0.06)、愛媛県(0.06)、沖縄県(0.06)である。

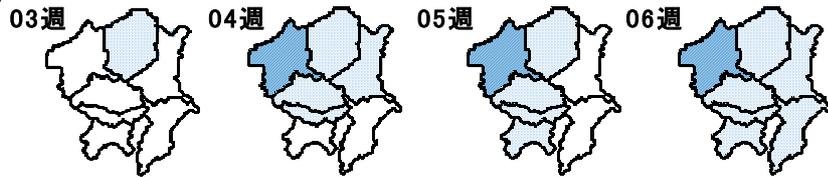
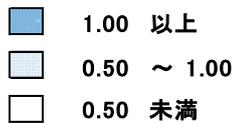
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第3週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.50)、富山県(1.20)、長野県(1.08)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。18都道府県から29例報告があり、年齢群別では0歳(2例)、1～4歳(8例)、5～9歳(12例)、10代(5例)、30代(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第6週(2月3日～2月9日):通巻第27巻 第6号 より

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、群馬県(1.49)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2025年 06週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	18,592	5,486	330	383	593	1,096	828	1,124	1,132
	定点当たり	3.78	3.60	2.75	5.04	6.98	4.22	4.10	2.69	3.13
新型コロナウイルス感染症	報告数	28,662	8,753	952	554	524	2,042	1,476	1,476	1,729
	定点当たり	5.82	5.75	7.93	7.29	6.16	7.85	7.31	3.53	4.78
RSウイルス感染症	報告数	2,989	739	44	47	79	155	64	182	168
	定点当たり	0.96	0.77	0.59	0.98	1.49	0.95	0.50	0.69	0.73
咽頭結膜熱	報告数	995	219	18	26	19	48	40	37	31
	定点当たり	0.32	0.23	0.24	0.54	0.36	0.29	0.31	0.14	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,748	2,650	402	106	63	485	505	698	391
	定点当たり	2.48	2.76	5.36	2.21	1.19	2.98	3.95	2.65	1.71
感染性胃腸炎	報告数	23,101	8,219	484	335	492	1,456	1,149	2,630	1,673
	定点当たり	7.39	8.57	6.45	6.98	9.28	8.93	8.98	10.00	7.31
水痘	報告数	907	349	27	7	6	74	24	95	116
	定点当たり	0.29	0.36	0.36	0.15	0.11	0.45	0.19	0.36	0.51
手足口病	報告数	236	49	1	2	5	8	10	11	12
	定点当たり	0.08	0.05	0.01	0.04	0.09	0.05	0.08	0.04	0.05
伝染性紅斑	報告数	2,104	1,298	54	69	31	303	213	374	254
	定点当たり	0.67	1.35	0.72	1.44	0.58	1.86	1.66	1.42	1.11
突発性発しん	報告数	622	171	9	10	10	27	29	51	35
	定点当たり	0.20	0.18	0.12	0.21	0.19	0.17	0.23	0.19	0.15
ヘルパンギーナ	報告数	32	11	2	1	1	3	-	1	3
	定点当たり	0.01	0.01	0.03	0.02	0.02	0.02	-	0.00	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	90	40	-	-	3	5	4	11	17
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	0.06	0.03	0.03	0.04	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	33	9	-	-	-	9	-	-	-
	定点当たり	0.05	0.04	-	-	-	0.21	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	554	183	38	5	6	20	33	20	61
	定点当たり	0.80	0.89	2.24	0.42	0.43	0.48	0.94	0.51	1.33
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	2	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.11	-	-	-	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	12	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.08	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	225	32	5	2	7	6	3	8	1
	定点当たり	0.47	0.37	0.38	0.29	0.78	0.50	0.33	0.32	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	29	7	-	1	-	3	-	2	1
	定点当たり	0.06	0.08	-	0.14	-	0.25	-	0.08	0.08

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

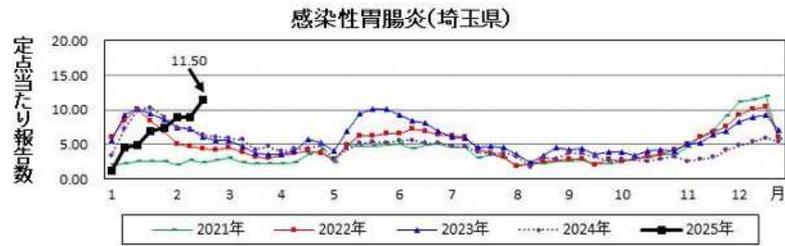
- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)

感染症の流行状況 2025年 第8週

2025年第8週（2月17日～2月23日）の要点

[感染性胃腸炎](#)の定点当たり報告数は11.50であり、前週と比較して増加し、第4週以降増加傾向にあります。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	↓	★★★★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↑	★★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

